



北海道医歌人会詠草

訃報

札幌 古屋 統

同人誌集い競いし四十年八十七歳きみが訃届く
他人の作褒めぬ鉄則同人誌酷評屢々罵倒となりて
作品に光るものなききみにして人を貶すは一流なりき
糟糠の妻を胃がんに喪えるその悲しみは他人に洩らさず
思春期の娘がかえて惑うきみ天使降り立ち微笑み給う(Y子夫人)

平成二十八年八月

美唄 吉村 誠治

天皇の民への思ひ切々と「ビデオ・メッセージ」畏みて聴く
待ちまちし三千本安打達成す日本・アメリカ拍手し止まず
リオの地に体操日本復活す美しき演技内村航平
次々と新型台風上陸す北の大地の安寧を祈る
37℃・70%異常な暑さ続きたり卒寿の我にはいたく堪へり

ヒルガホ

札幌 浜島 泉

朝霧が消え晴れゆきて 炎熱の日始まりぬべしヒルガホ咲きて
丘に生ふるオホマツヨヒグサ朝霧に 清し黄色の花を開きつ
朝のバス停まらず保母が降りるなし 高校生は夏期の休暇か
すめらみの気持ち怖じけり認知症を 高齢社会の謂ひに託して
働くと言ひて障りをなさぬべし 退かまほしくを弁へんこと

旅の終り

釧路 兎玉 昌彦

天近く雲呼ぶ山の高原に竜棲む沼は花に囲まれ
人と鳥、島半分を棲み分けて共に生きぬく北海の冬
その昔、浜を埋めたる群衆の山、肥料と化して万骨枯れり
地と汗と借金地獄でまかなった富良野の畑に夕影長し
丘の上に海を見すえて立ち並ぶ白き風車の今様モアイ

世情

旭川 稲積 文子

ISが何であるうと人殺す宗教なんてある筈がない
アラーの名を叫んで堂々と人殺す宗教がはびこる現代社会
殺戮を繰り返して起るヨーロッパ何時迄も続けよ平和な日本
鬼の顔怒り狂う人の声この世の事とは思いたくなし
台風が近づきたりとの予報あり北見めぐしてハンドル握る

食膳

江別 三宅 浩次

季節ごと旬を味あう楽しさを奪い取るのは流通革命
キャビアよりイクラがうまいと思うけどこのホテルのシェフは誰ぞや
日本に生まれたるこそハッピーぞ世界遺産の膳前にして
その出自オーストラリア産というアスパラガスのなぜにか太い
道東の沖でサンマが不漁という魚売り場でなぜにか安い